

## 【NEWS RELEASE】

2021年7月28日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

サステナビリティ委員会の設置について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、気候変動対策をはじめとしたサステナビリティへの取組に対する取締役会による監督機能を強化するため、取締役会の内部委員会としてサステナビリティ委員会を設置いたしました。

1. サステナビリティ委員会設置の背景

SMBC グループは、経営理念に「社会課題の解決を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する」を掲げており、「SMBC グループ サステナビリティ宣言」に基づく 2030 年迄の 10 年計画「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」の実践を通じ、持続可能な社会の実現に向けた取組を加速させています。

2021年4月より、新たにグループCx0の一つとしてグループCSu0(Chief Sustainability Officer)を設置し、サステナビリティ全般の取組を統括・推進することといたしました。加えて、2021年5月には、気候変動問題への対策を強化し、パリ協定の目標に沿った温室効果ガス排出量削減に真摯に取り組むべく、長期行動計画「気候変動対策ロードマップ」と、その具体的な現中期経営計画期間中の施策パッケージ「アクションプラン STEP1」を策定・公表しています。

こうした執行サイドのサステナビリティへの取組に対し、取締役会による実効的な監督機能を強化するため、取締役会の内部委員会としてサステナビリティ委員会を設置いたしました。今回の設置は「アクションプラン STEP1」における施策の一つである「気候変動に関するガバナンス・経営管理体制の強化」に資する取組です。

2. サステナビリティ委員会の概要

サステナビリティ委員会では、気候変動対策をはじめとしたサステナビリティ推進施策の進捗に関する事項、サステナビリティを取り巻く国内外の情勢に関する事項、その他サステナビリティに関する重要な事項等について審議され、取締役会への報告・助言が行われます。社外取締役 2 名、社内取締役 2 名、社内外の有識者 2 名の合計 6 名で構成され、委員長には当社の社外取締役である桜井恵理子氏が就任いたしました。また、社内外の有識者として、東京大学未来ビジョン研究センター教授の高村ゆかり氏、ならびに、株式会社日本総合研究所常務理事の足達英一郎氏が就任いたしました。

<サステナビリティ委員会の委員長および委員>

取締役	桜井 恵理子	(委員長・社外取締役)
取締役	河野 雅治	(社外取締役)
東京大学未来ビジョン研究センター 教授	高村 ゆかり	(外部有識者)
取締役会長	國部 毅	
取締役	太田 純	
(株)日本総合研究所 常務理事	足達 英一郎	(有識者)

SMBC グループは、サステナビリティ宣言に基づきお客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献してまいります。

以 上